

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 7 月 2 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/2 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	26.0 °C	3.9 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	34.4 °C	5.75 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.03 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	32.5 °C	0.23 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05 Vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/2 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	26.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.8 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	25.0 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	23.4 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	6/29 9:52 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/2 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。

・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。

・H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。

- ・H26/7/2 10:09～ 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日 6/21]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、海洋への排水を開始。
- ・H26/6/28 11:00 頃 1号機取水口付近において、協力企業作業員が仮設昇降足場を降りる際に足を滑らせ右足を負傷したため、入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受けたところ、右足関節捻挫と診断され、湿布による処置を行った。当該作業員に放射性物質の付着はない。
その後も痛みが続いたことから、6/30 に福島労災病院にて受診し、医師より右足関節果部骨折と診断された。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
<最新のサンプリング実績>
 - ・地下水バイパス揚水井 No.12 の分析結果(6/26 採取分)については、第三者機関による分析においても同等の結果だった。なお、地下水バイパス揚水井 No. 12 については運用目標値を超えているが、一時貯留タンク側の評価を行った結果、問題はなかった。
地下水バイパス揚水井 No.12:6/26 採取分
 - <第三者機関の測定結果>
 - ・全ベータ : 検出限界値未満(検出限界値:3.1 Bq/L)
 - ・トリチウム:1,500 Bq/L
 - <当社の測定結果>(お知らせ済み)
 - ・全ベータ:検出限界値未満(検出限界値:4.5 Bq/L)
 - ・トリチウム:1,500 Bq/L
- また、揚水井(No.2, 4, 6, 8, 10, 12:6/30 採取分)の測定結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
- ・6/30 に採取したH6エリア周辺G-2観測孔の地下水について、トリチウムの測定値が 2,300Bq/L[6/29 採取分の分析値:検出限界値未満(検出限界値 110Bq/L)]であった。降雨の影響で測定値が上昇したのと考えており、今後も傾向を監視していく。その他の分析結果については、6/29 採取分の測定値と比較して大きな変動はない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上